

## 例会記録

第55回日本医史学会神奈川地方会秋季例会・  
日本医史学会 合同例会令和2年9月26日(土)  
鶴見大学会館

## 一般演題

1. 小寺家文書から読み解く明治後期の地域医療  
岡崎女子短期大学准教授 黒野伸子
2. コロナウイルスはどこから来たか?  
保健科学研究所 加藤茂孝

## 依頼講演

温泉と医学：歴史上の人物のかくし湯についての  
検索とその医学的適応についての考察  
横浜市立大学医学部医学教育学教授 稲森正彦

## 特別講演

グローバル化と感染症——遣唐使と痘瘡，元寇と  
ペスト，コロンブス交換と梅毒，幕末のコレラそ  
して21世紀のCOVID-19

日本大学医学部病態病理学系微生物学分野教授 早川 智

## 日本医史学会10月例会

令和2年10月24日(土)

順天堂大学10号館105カンファレンスルーム  
(オンライン)

1. 翻訳者フナインと『医学問答集』 矢口直英
2. 「医は不仁の術」再考  
——戦時と平和時の，個別的倫理と集合的倫理——  
津谷喜一郎

## 例会抄録

## 小寺家文書から読み解く明治後期の地域医療

黒野 伸子，大友 達也

岐阜県大垣市の旧家である小寺家には，近世後  
期から近代にかけて約9000点の資料が伝来して  
おり，そのうちの約100点が「衛生医療」に関す  
る資料である。処方箋，種痘証明書，診療明細書，  
富山の売薬商や婦人病薬に関する資料，家庭薬  
報，受診券などがあり，年代が判明しているもの  
で明治7(1874)年から昭和21(1946)年に及ぶ。

特筆すべきは，明治41(1908)年6月11日か  
ら8月11日にかけて発行された9通の「診療明  
細書」が伝わっていたことである。本資料は当主  
小寺弓之助長女が虫垂炎で入院した際に患家に交

付されたもので，当家日誌にも入院記録が残る。  
本発表では，「診療明細書」「小寺家日誌」「種痘  
証明書」「健康食品の啓発冊子」等を併せ，明治  
後期の地域医療の一端を明らかにすることを主な  
目的とした。なお，翻刻，解題は名古屋大学石川  
寛准教授による。

注記：本研究の一部はJSPS科研費17K04658による助成  
を受けて遂行された。

(第55回日本医史学会神奈川地方会 秋季例会・  
日本医史学会9月例会 合同例会)